

『私の道』

管長 菊池重敏



私の母、菊池トシエは神と約束をしました。亡くなった男の子の代わりに、男の子を授けて下さいと誓いを立て、そして生まれたのが私、菊池重敏です。トシエは、神との約束は何としてでも守らなければならぬと心に誓いました。

神との約束は信仰の道に入ることです。

朝と夜のお参りの時間を決め、三十年間一分も遅れる事なくトシエは務めました。神の御命令に依って、札幌市内の行者や宗教家、或いは神社や寺を神の御指示のままに訪ね、そこでの神前や仏前で神のお告げをお話します。

更には北海道内、そして全国での修行へと広がって行きました。全国の修行から帰ったトシエは、「宗教道場」の看板を掲げ、あらゆる宗教者との問答を試みました。トシエが神から授かった神徳は、即座に人を病から立

新緑号
編集・発行
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
〒106「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524 番

ち直らせる力では無く、穴だらけの道を落ちる事無く、スイスイと渡って行く様な、妙技の力でした。

そして、トシエは多くの信者や宗教者を教え導きました。更には、神から御命令された、菊池家の神社「札幌八幡宮」を建立してから、三十年後に八十九歳で天寿を全うしました。

私は、札幌八幡宮を継ぎ、神道大教の第十三代管長を務めさせて戴いています。トシエは私の命を守る為に、そして、神との約束を守る為に、厳しい修行を五十五年間続けました。

私は今までに、交通事故で死につながるような状況で、何度も無事に過ごさせて戴いています。私は神から守られていてと思います。そこで、私の人生での使命について、考えてみます。トシエの遺してくれた「札幌八幡宮」は、順調な発展を遂げています。神道大教の管長となり、私の目指す地域に根差した神道大教院の発展も、多くの方々の御尽力に依って、見え始めて来ました。

明治天皇御製
世の中の事ある時にあひぬとも
おのがつとめむことな忘れそ
おもふこと思ふがままになれりとも
身をつつしまむことなわすれそ

令和三年五月より、管長任期二期目が承認され、全力で務めさせて戴きますが、私の使命は、そうした発展を促すだけで良いのでしょうか？

私の出自状況を踏まえると、まだまだ何かを神から課せられていくような気がするのです。

明治の始め、日本の宗教の要は「大教院」でした。その使命を受け継いでいるのが神道大教です。

日本国の安泰と世界の平和、国民の安寧と発展が神道大教の目指す所です。その後「教派神道十三派」

と言われ、その中心的存在が神道大教です。

国民の安寧は、国民の心の救済に有ります。国民の心の救済を働き掛けている教派神道は、教えの宝庫であり、教導の実践経験も豊富です。個々に活動をしている教団が、日本国民、更には人類の心の救済の為に力を合わせ、活動したならば、日本の宗教の素晴らしさが国民に伝わり、心の救済に発展していくのではないかと思います。

その活動の要となるのが神道大教であると思います。そして、その呼び掛けは、神道大教の管長である私の仕事であると思います。

この大業を私の使命として取り組んでいきたいと思っています。



年越大祓

いよいよ年の瀬も迫る令和二年十二月二十一日、昨年来世界的に猛威を奮っている新型コロナウイルスの早期終息も願い、神道大教院御神殿にて年越大祓を執り行いました。

大祓は、記紀神話に見られる伊弉諾尊の禊祓を起源とし、古くから宮中や神社で行われていきます。

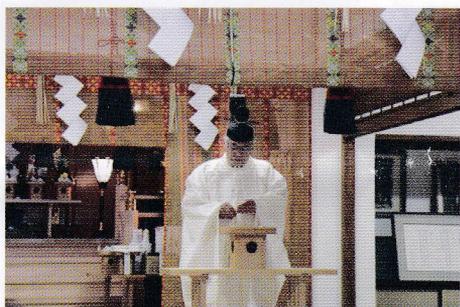
大祓の大は公(おおやけ)の意味で、天下万民の罪穢れを祓う神事です。

大祓式は六月と十二月の晦



齋主が大祓詞を一同に宣り聞かせる

日(みそか)に行われ、普段の生活において、知らず知らずのうちに目に見えない罪を犯したり、穢れに触れたりした行為を心身共に祓い清め、次の半年間を神様の御心に叶う、清く正しく睦まじき生活を、清々しい新たな気持ちで過ごせるように祈願する、我が国の伝統行事です。



解 繩 神 事

贖(あがない)神事として、解繩(ときなわ)、八針(やはり)切麻(きりぬき)形代(かたしろ)神事を行います。贖とは、賠償の古語で、罪を償う、或いはそれに相当する事を行う事を意味します。大祓詞に出てくる「大船を舳解(へと)き放ち鱸解(と



形代に心身の穢れを託す参拝者



八 針 神 事

もと)き放ち」の内容が解繩神事となり、「八針に取り辟(き)きて」の内容が八針神事となります。切麻は、祓いの物で、麻又は紙を細かく切って米と混ぜ、祓い清める為に撒き散らします。形代は心身の穢れを身代わりとなる形代に託し、海や川に流し或いは清浄な火でお焚き上げします。

年 越 大 祓

- 一、 修祓の儀
- 一、 齋主一拝
- 一、 献饌の儀
- 一、 齋主祝詞奏上
- 一、 齋主大祓詞を宣る
- 一、 贖物神事
- 一、 解繩・八針・切麻・形代各神事
- 一、 四大信條奉唱・きよめ祓の歌奉唱
- 一、 天津罪国津罪祓い清めて清々し、天津罪国津罪祓い清めて皆清々し
- 一、 後祓詞奏上
- 一、 齋主玉串奉奠
- 一、 参列者玉串奉奠
- 一、 撤饌の儀
- 一、 齋主一拝



管 長 挨 拶



参 列 者 玉 串 奉 奠



四 大 信 條 ・ き よ め 祓 い の 歌 奉 唱

大教院の初詣



初詣準備の整った御社殿

令和三年、年明けの時報と共に、初詣参拝者が神道大教院の境内地に一人二人と集まり始め、十二時をやや過ぎた頃には、地域住民の方々が次々と集まり御参拝されました。

今年のお正月は、コロナ禍の影響で幾分御参拝を控えられるのではないかと思いましたが、正月三ヶ日の参拝者は、昨年より若干上回り、三百六十人の方が御参拝されました。

初詣参拝者をお迎えする体制を行ってから、今年は何年目になります。



授与所担当の神職



可愛い参拝者が福引きに挑戦

長年本部神社としての活動体制の為、地域の人達との交流が少なく、初詣も数人にとどまっていた。

今年の初詣は、コロナウイルス感染防止の為、鈴緒を片付け、手水舎も使用禁止とし、輪投げ占いも中止としました。

参拝者は御神殿参拝の後、大絵馬に願い事を書き、本局特製の手作り甘酒を楽しみ、無料のお菓子抽選会で当たった景品を受け取り、笑顔で帰られる参拝者の姿



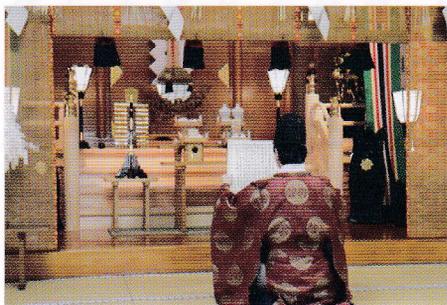
正月用特設授与所



初詣者を接待する巫女

が恒例となってきました。今後は、新たに完成した授与所が、地域住民との交流の場となって、神道大教院の御参拝者も増え、初詣も五百人、千人と徐々に増えていく事と思います。

今後も地域住民の心の拠り所として、大神様の御神威高揚に務めて行きます。



齋主節分祭詞奏上

今年の節分は、二四年ぶりの「二月二日」となりました。

神道大教院では、節分祭を大熊職員齋主、林職員祭司となつて、職員のみにて執り行いました。

齋主の祝詞奏上後、社殿及び境内地にて豆まきを行いました。

今回の節分祭ではRNN（人道援助宗教NGOネットワーク）の事務局長を務めている、黒住教黒住宗道教主御提案にて、世界的に蔓延している新型コロナウイルス終息の一斉祈願を節

節分祭齋行



境内地での豆まき



御神殿での豆まき

分の日に合わせて行う事を提唱されました。

教派神道連合会が賛同し、節分の日に終息一斉祈願祭を、各教団にて行う事となりました。

神道大教も賛同し、節分祭に新型コロナウイルス終息祈願を齋行しました。

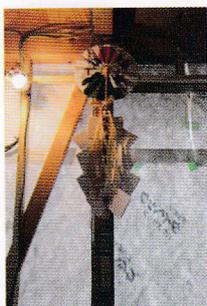
授与所上棟祭齋行

授与所新築工事地鎮祭を令和二年九月一日に齋行し工事が着工され、樹木の撤去が始まりました。

外壁の解体撤去、基礎工事等次々と工程が進み、棟梁の木作業によって、柱、桁、梁が組み立てられ、銅板で屋根がふかれ、骨組みの出来上がった状態となり、



上棟祭の齋場



扇飾りと棟札

令和二年十二月十九日上棟祭を齋行しました。

祭場には、扇飾りと御幣、棟札が設置され、祭壇には神籬を刺し立て神饌が供えられました。管長が齋主を務め、禮典長が副齋主、大熊典礼が祭員となつて儀式を齋行しました。

当日は好天に恵まれ、設計業者株式会社東建設、施工業者平野建設株式会社それぞれ代表役員及び棟梁、大工が参列しました。

始めに、修祓の儀、齋主一拜、降神の儀、献饌の儀と続き、齋主が祝詞を奏上し、棟木と四方の柱を祓い清め、次に、齋主玉串奉奠で祭員

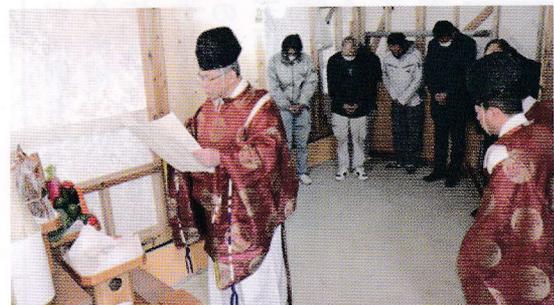


修祓の儀

が列拜し、来賓の業者様の玉串奉奠を行い、続いて撤饌の儀、昇神の儀、齋主一拜を以つて上棟祭を滞りなく納めました。

祭典終了後餅まきを行い、御近所の人や通行人の方が大勢集まり和気あいあいとお餅を拾われ、袋一杯にお餅を詰められてお持ち帰りになりました。

東京でのお餅まきは珍しいので、御参加者は良い思い出に成つた事と思います。直会として、御来賓の業者様には折詰弁当と御神酒と御祝儀をお渡ししました。



齋主祝詞奏上



工事中の外観



棟木と四方柱の清め祓い



餅まきに参加する住民

授与所竣工祭齋行

令和三年三月二十二日、待ちに待った待望の授与所が完成しました。

木の香りが漂う芳しい新室にて竣工祭を齋行しました。一階授与所に祭壇を組み、神籬を立て、神饌をお供えし、定刻の午前十一時、来賓の設計・施工業者の代表

者が参集し、管長齋主、大熊典礼が副齋主を務め、祭儀がすすめられました。

先ず、大熊副齋主によって修祓の儀が行われ、齋主一拜、降神の儀、献饌の儀、と続き、齋主祝詞奏上では、この授与所が地域住民や教師、崇敬者達との橋渡しとなつて、大神様の御神威が弘められていく事を祈願されました。

続いて、授与所内外の清め祓いを行い、齋主玉串奉奠、職員を代表して総監が玉串奉奠、来賓玉串奉奠と続き、撤饌の儀、昇神の儀、齋主



竣工祭詞を奏上する管長

最後に管長が設計、施工に携われた方々に御挨拶され、素晴らしく見事に美しく完成した授与所に喜びの感謝の言葉を述べられ、今後この授与所が、神道大教の発展に一躍を期していく事を期待しているとの御挨拶をされました。



竣工祭の祭壇



玉串奉奠を行う長元総監



四方清め祓いを行う大熊典礼

この度も、新型コロナウイルス感染症防止の為直会を中止し、御来賓の皆様にはお祝いのお弁当をお持ち帰り戴きました。



完成の授与所外観



2階の応接室



完成した授与所の受付

二十四節気七十二候・年中行事

日本の四季と花鳥風月を愛でる

365日、
暮らしのこよみ

井上象英

「時の流れに沿って、わたくしらは生きています。けれども、時々は自然の恵みを受け、その間から救われています。」

この一冊で「時」を積み、丁寧に暮らすヒントが、たくさん得られます。手に取って、流れを感じてみてください。

ロバートキャンベル

Gakken

「自然と共に生きる」ことをテーマに書きあげた本。自然との触れ合いを365日の日々と共に語りかけ、人と自然との関わり方を教えてくれる、素晴らしい名著です。全国の書店やアマゾンでお求め戴けます。単行本 382ページ 定価1700円(税別)

「季節の小さな変化に気づけるようになれば、いつしか人間の心は育ち、豊かになります。」おわりに より

神道大教教師 大教正 井上象英先生が、暦作家として集大成となる著書『暮らしのこよみ』を学研プラス株式会社より、全国販売されました。

象英先生は「神道の友」に連載記事を掲載されているお馴染みの先生です。

春分靈祭

三月二十一日、恒例の春分靈祭を弥生の月次祭に併せ厳粛に斎行しました。

コロナウイルス感染防止の為、御参拝は御無理をされませんよう御配慮をお願いしました。

それでも十人程の方が、感染予防に万全を期して御参拝下さいました。誠に有り難い限りでございます。

定刻の午後一時より、御本殿にて弥生の月次祭本殿祭を管長齋主の下、厳かに斎行しました。

続きまして、御靈殿にて春分靈祭を執り行いました。



本殿祭 修祓

先ず、齋主一拝、献饌の儀と続き、春分靈祭詞並びに祥月祭詞を齋主が奏上しました。

奏上後、管長は御霊和めとして、明治天皇御製「つくづく」と

思うにつけて 尊きはとほつみおやのみいつなりけり」を朗詠されました。

続いて、林日奈子局員が慰霊の舞を奉奏、次に、婦人会有志の道彦によつて神教歌を祭員・参拝者が心一つに奉唱しました。

続いて、齋主玉串奉奠を祭員座後列拝にて行い、続いて、祥月命日御遺族並びに参列者が玉串を奉りて拝礼をしました。



齋主本殿祭詞奏上

次に、撤饌、齋主一拝にて令和三年の春分靈祭を滞りなく終了しました。

続いて管長挨拶では、人と人との関わり合いの中で、他人に近づかれると不快に感じる空間、パーソナルエリアの配慮を考えながら、関わり合いを深めていく事の大切さについて講話されました。

今回も、祭典終了後の直会は感染防止の為中止とさせて頂き、御参拝者には、記念品と撤下の神饌をお持ち帰り戴きました。尚、全国の教師よりお心の籠った数々のお供物を御奉納賜り、感謝しております。

謹んで御神前・御霊前にお供えさせて戴きました。ありがとうございます。



春分靈祭献饌の儀



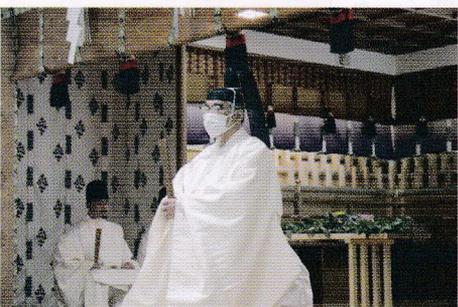
春分靈祭齋主玉串奉奠祭員座後列拝



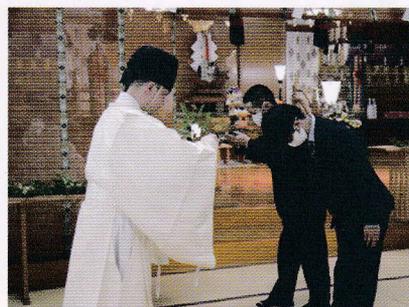
婦人会有志の神教歌奉唱



慰霊の舞を奉奏する林職員



春分靈祭終了後の管長挨拶



玉串奉奠を行う参列者



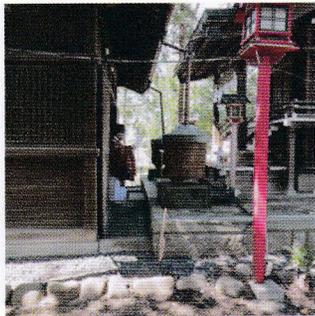
神道大教 四本木稲荷神社初午祭

東京都北区滝野川三丁目六十一番地に鎮座する、神道大教直轄神社『四本木稲荷神社』の初午祭を、旧暦の三月二十三日に合わせて斎行しました。

四本木稲荷神社は、後継者が途絶え、雑草が生い茂り荒れ果てた境内地となっていましたが見かねた地域の有志の方がボランティア活動で境内地の落葉を集め、雑草を抜き整備されていました。

そうした中、四本木稲荷神社は本局直轄神社と成り、ボランティアをされている地域の方々と、管長や本局役員との交流が生まれ、地域の方々に依って「四本木稲荷神社を守る会」が結成され、自発的に活動をされています。

清掃等幅広いボランティア活動をして下さり、見違える程に手入れされた境内地に生まれ変わりました。この度、本局直轄神社と成って初めての初午祭を斎行しました。当日は晴天に恵まれ、朝早くからボランティアの方々が集合され、清掃奉仕をして下さり、清々しい御社殿と境内地において、午前十一時、菊池管長齋主、大熊典礼副齋主となり、厳粛な祭典を執り行いました。近隣の本局教師小泉輝人先生が直轄神社となった当初より、祭典のお手伝いをして下さり、地域の方々とも親交を深め、地域と密着した教化活動に御助力を戴いています。祭典には、十人程の御参拝を戴き、祭典終了後は、福引にて、お供物の撤下や記念品を頒かち合い、和やかな雰囲気の中、盛大な初午祭を終了しました。地域の皆様、御協力誠にありがとうございました。



管長祝詞奏上



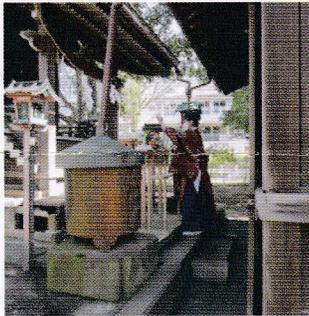
献饌の儀



全 景



管長挨拶



撤饌の儀



玉 串 奉 奠



玉串奉奠を行う有馬様



福引きの景品を受け取る参拝者



守る会を代表し挨拶される有馬様

『三人行れば必ず師有り』
論語・述而 第七

孔子曰く

三人行れば必ず師有り

その善(よ)き者を択(えら)びて之に従い

その善からざる者にして之を改む

「三人寄らば文殊の知恵のことわざの源はここから来ています。」

又、「三本の矢」の言葉もここから来ており、三本の矢の力を以って射れば、相手を倒す事も出来る、結束を表しています。

そして、正数の一はスタート、二は迷い、三は変化の



始まり、四は進む、五は変化の大王と言われます。

あくまで三は変化の始まり、切っ掛け、あるいは動機付けとなります。

昔から言われている事で、三の数字の魔力、意義で有ります。

点を二つで結べば線となり、点が三つで三角と成り、三角と成って初めて物が動く

と言う事で、コトトンコトトンと動く。これが四になると四角と成って更に動き

易くなります。五に成ると変化の大王と称してほとんど円になるので、更に動き

易くなり転がって行きます。化学がどうか分かりませんが、数字には意味合いが有

ります。帝は震(三碧木星=東)より出ずる。(説卦伝)

三を東に持つて行ったと言うことは、太陽が昇る方位

に有り、変化の始まりの意味でも有ります。その善(よ)き者を択(え

ら)びて之に従い

その善からざる者にして之を改む

とは、三人の中には自分にとつてなるほどと思う人も居れば、チョット違うと思

う人も居る。三人寄れば必ずその中に善き人は居るよ

だからその人に従えば、その善き人を選んで従うと言

う事になります。良からざる者を見たら自ら改めるのです。

これは相手を反省させるのでは無く、自分が反省する事になります。反面教師と

言う事です。人を殺めるより、人を助けるほうがどれ程難しいか、

初めて知るようになるのはやつと五十を過ぎてからくらいでしようか。

苦勞をしてどれだけ人を助けようと思っても中々助けられません。

そういう経験をしなければ分からないと思います。昔の人は、助けるよりも剣

で殺してしまい、亡き者としてしまいます。

しかし、助けようという気持ちに成つたら、邪魔だから殺せと言う人達を諫めなければなりません。

余計な勞力を使って説得させ、尚且つ大変に成つてしま

まう。言葉は違つかも知れませんが、「噂話は剣よりも恐ろしい」とは松尾芭蕉の言葉で

すが、言葉によつてその人を殺す事も出来ます。

この場所から抹殺してしま

う、或いは、自殺に追い込むなど、悲惨で悲しくいたましい事になります。いじめの原点です。

いじめの原点を含めて弱い者を救うのは大変難しい事です。

その善からざる者にして之を改む

とあるのは、孔子は良い人たちが集まりの中で、恵まれていたのかも知れません。

周りの人たちも孔子の純粹な心と生き様をかばつて、孔子の生きたいように、或いは奥様も同じように、主人は世の中を良くする為に、”仁を説く為に、地方に出かけています”とかばつていました。

でも、地方の出張が長過ぎて、居ないその間に奥様は亡くなつてしまふという悲しい出来事でも有りました。

このようにして、人を改めようとするのはとても難しい事で、自分を改める方がよっぽど簡単なのです。

つまり、自己成長したいなら、機会が有るごとに尊敬出来る人物の近くに寄り添い学ぶ事です。

(講演から)

論語指導士

大教正 井上 象 英



「柔らかい心が 開運を招く」

管長 菊池重敏

病気の原因のほとんどがストレスから来ると言われています。

ストレスとは何かを考えて見ると、心の歪みがストレスに成っていると思います。正常な心では無く、歪んだ心にストレスが生まれて来るのです。

歪んだ心とはどんな心かと考えてみますと、自分の心の中には「こう有るべきだ」と言う思いが有ります。真面目な人で有れば尚更、その思いは強く成ると思います。



「こう有るべきだ」と思う心を自分に向ければ、昔は思うように行動を取れたのに、今は思うように行かないとか、高齢に成ったり、体調を崩している時に、いつもなら出来たのにと思う心が、自分に対しての不平等や不満がストレスと成って、体調を崩した体が、更に悪化して病気を招いたりしてしまふ事も有ります。又、「こう有るべきだ」と思う心を人に向ければ、いい加減さが許せないとか、思うようにならない事が、不平不満のストレスと成ってしまふ事です。「こう有るべきだ」とかたくなに思う心が頑固な物差しと成って、人とぶつかる原因となり、自分の体を蝕む病因と成つたりします。ですから、頑固な物差しを柔らかな物差しへと変えて行く事によって、開運が訪れて来ます。

「物事には必ず反対の考えを持つ人が居るもの」又、自分を理解してもらえない人には、「自分の意見を一度は言いました、後は貴方がどう考えるか、良く成る事も、悪く成る事も貴方次第です」と考えて、くよくよ気をもまない事です。人生に於いて、自分が背負はなければ成らない荷物は、どんなに愛する人で有っても、家族で有っても、その人の代わりに背負ってあげる事は出来無いのです。自分の人生の課題は、自分で乗り越えて行かなければ成らない事と、割り切って行く事です。そうすると、「こう有るべきだ」と言う思いを「まあ良いか」とか「何とか成るか」と思える様な、柔らかい物差しに変化して行きます。すると、自分自身にも又、周りの人にも柔らかな心と成って、不平不満が無くなり、ストレスも無くなつて来ます。

と、「心の歪み」が無く成り、正常な心と成って、病気も、対人関係も良き方へと向かつて行くものです。

人は変わらないものだから自分が変わるしかない
人を変えようと思っても無理。人は変わらないものと思つて、相手に合わせて自分を
変えていく方が利口だ。

いつも爽やかな心で居よう

嫌なことでもまず素直に自分の心の中に受け止めて、それから気持ちの切り返しを考える。
嫌なことは早く忘れる。
不満は溜めない。小さなことにこだわらない。
嫌なことはすぐに洗い流す。



いつも爽やかにいられるよ。
他人の代わりにトイレはいけない
人生にはその人が乗り越えなければならぬ課題があつて、どんなに愛している人でも代わりにやってあげること
は出来ないものだよ。
その人の人生だからね。
(管長標語より)

「菊池管長のつぶやき」が
日めくりカレンダーになりました。
(62日分のお話掲載)
「菊池管長の言の葉集・一ミリ前進」

発売中

菊池管長の愛情、優しき、思いやりの一杯詰まった日めくりカレンダー。(六十二のお話、二か月分を取録)

本局でお買い求めいただけます。
(二冊税込一、五〇〇円)

本局通信

◎教内異動

☆教師昇級

○補 訓導

駒岳大教会(属)

山梨・遠藤文子

(令和三年二月二十一日付)

☆褒章授与

○贈 大教正

直属

奈良・岡本忠宣

(令和三年四月二十一日付)

長年に亘り、本教隆盛の為

に力を尽され、大会議議員、責任役員として、今尚御活躍戴いています岡本忠宣師に、顧問会の承認の上、左記の称号を贈ります。



告示 令三二二号

令和三年三月十一日

教師各位

第十三代管長選挙の経緯並びに結果の報告

管長選挙委員長 総監 長元祥泰



謹啓 春暖の候 各位益々御健勝にて斯道に御精励の事とお慶び申し上げます。

扱、標記の件につきまして、現十三代・菊池重敏管長の任期四年(平成二十九年五月一日就任)の満了(神道大教教則第二十条)に伴ない、同第二十三条及び同十九条規定に基づき、去る一月二十二日付告示を以て、二級以上の教師(大教正・権大教正)へ管長立候補を募りました所、二月六日立候補締切日までの届出者は現菊池重敏管長のみでありました。

この事を受け、顧問五名に承認を求め、全会一致にて承認されました。

依って、管長選挙執行を俟たず無投票当選を以て、再任されましたので茲に告示致します。

謹白

令和三年度 夏季研修会のご案内

○参加条件

現職教師及び本教教師・教場後継者として布教活動を志願する方。初任の方は教場長・現職教師(教師取得年限及び実務経験が五年以上)の推薦を得て、検定委員より許可された方に限ります。

○会場 神道大教本局

○期 日

【全日過程】

八月二十二日(日)より二十八日(土)まで

【前半過程】

現任者のみ 八月二十二日(日)より二十五日(水)まで

【後半過程】

現任者のみ 八月二十五日(水)より八月二十八日(土)まで

○費用

【全日過程】

受講料・七万二千元

※尚、研修内容を変更する事がございます。



○申込方法

受講希望の方は、八月十五日(日)までに、申込書に必要事項を記入の上、送付して下さい。初任者の方は、履歴書・住民票・証明写真(3.5cm×4.5cm)を必ず添付して下さい。

【注】笄及び衣装類につきましては、本局での準備または注文は受け出来ませんので、推薦者と御相談の上、各自で御用意下さいます様、お願い致します。

宿泊費・・・二万八千元
受講料・・・四万二千元
宿泊費・・・一万四千元

【前半・後半過程】

管長の動向 (対外行事・事務局)

- 一月一日 歳旦祭齋行・初詣対策実施(三日まで)
十三日 教派神道連合会理事会(リモート会議)
四本木稻荷神社初月次祭(大熊典礼・堤典礼奉仕)
廿一日 弁護士・税理士と打合せ(神道大教)
廿二日 初月次祭齋行・新年互礼会(中止)
廿三日 本局会議
廿三日 管長選挙立候補案内状発送(権大教正以上教師)
廿三日 節分祭齋行
二月二日 教派神道連合会各教団新型コロナウィルス終結祈願祭齋行
三日 高松宮宣仁親王殿下御命日祭(豊島岡墓所中止)
六日 管長選挙締切
十三日 四本木稻荷神社月次祭(管長・総監・大熊典礼奉仕)
十六日 文化庁宗務課、不活動法人について(オンライン講習)
二十日 本局会議
二十一日 月次祭齋行
二十二日 責任役員会(神道大教)
三月十一日 教派神道連合会理事会出席(仏教会館)
十二日 四本木稻荷神社御社殿内陣清掃(管長・大熊典礼)
十三日 四本木稻荷神社月次祭齋行(管長・大熊典礼奉仕)
十九日 授与所新築検査(消防署・区役所)
二十一日 月次祭・春分霊祭齋行
二十二日 授与所竣工祭(管長・総監・大熊典礼・堤典礼奉仕)
二十三日 四本木稻荷神社初午祭(管長・総監・大熊典礼奉仕)
四月四日 管長教場訪問・北海道岩内町 金刀比羅神社
十三日 四本木稻荷神社春季大祭齋行(管長・大熊典礼奉仕)
十四日 教派神道連合会理事会(國學院大學)
二十日 大祭祭員集合(大祭準備・修礼)
二十一日 春季例大祭齋行



管長標語

注意するときは

感情で言つては駄目

感情で話すと相手も感情で

受け止めてしまうからね。

こちらは冷静に冷静に、

ちゃんと相手は聞いてくれるよ。

決心したら

後は迷わない

決心したら開運の扉が開く、

後はまっしぐらに突き進む。

何とか成っていく。

一つ悩み一つ苦勞す

れば人生の肥やしと

なり宝となる

楽な道よりも苦しい道を選

んだ方が、成長できるんだ

よね。

実習生紹介

神道大教研修生

四月一日付 辞令

宮田 楽 (みやたがく)

山形県鶴岡市

三山宮 宮司宮田博正先生

の長男宮田楽君が、四月よ

り本局から國學院大學へ通

学する事になりました。

楽君は、神職の免許を取り

父親の跡を継ぐ予定です。

神職の勉強を夜間学校で学

び、日中は本局で実践実習

を行います。

楽君は、名前の通り楽器が

好きで、小学校から楽器を

習い、中学校では吹奏楽部

でチューバを担当し、夏の

コンクールの県大会では毎

年入賞する名門校です。

高校では、バトミントン部

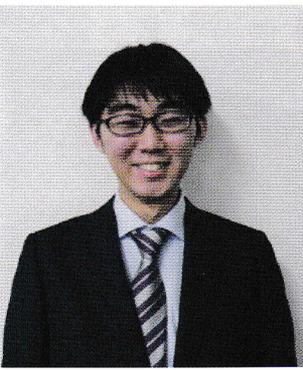
で活躍しました。

本局局員として、これから

色々な事を学んでいきます

ので、どうぞ皆様宜しくお

願いたします。



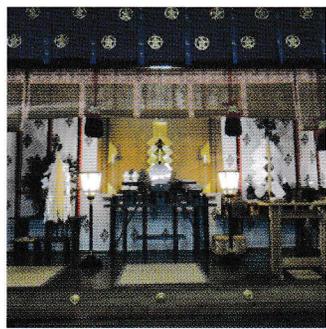
菊池管長の教場訪問

「神道大教 金刀比羅神社」

北海道岩内町鎮座の金刀比羅神社は、明治四年淡路稲田藩吉住利平様が、北海道開拓の士として日高の静内に来道され、幼少の時、金刀比羅大神の神助を得て、宗教家になろうと志を立てられ、明治十一年漁業の地岩内に移住されました。明治十九年九月神道管長より教導職の辞令を受けられ、教義を遵奉し布教に勤められ、信者・崇敬者を結集されて、現在の清住の一角に居住し、讃岐金刀比羅宮より御分霊を勧請して奉斎さ



金刀比羅神社御社殿



御 神 前

れました。明治二十一年十二月神道管長並びに北海道庁長官の認可を得て、神道出雲教会を現在の高台一五六番地に設立し、出雲大神並びに金刀比羅大神を併せ祀り、明治四十五年三月神道管長並びに北海道庁長官の認可を得て、神道金刀比羅教会と改称されました。神道大教院に奉斎する、大神の御分霊並に金刀比羅大神を奉祀し、教義の宣布と信者、崇敬者の教化育成に勤められ、祭儀行事を勤める中、昭和六年九月創立者の吉住利平様が御逝去され、長男吉住政雄様が後任主管者として就任されました。其の後教会の発展と興隆に力を尽され、布教に専心さ



舟 神 輿 殿

れましたが、昭和二十二年七月に二代目宮司の吉住政雄様が御逝去され、同人の三男吉住正様が後任主管者として就任され、敬神布教に勤められました。昭和二十七年宗教法人法施行に伴い、神道大教管長より、金刀比羅神社と改称認可され、昭和二十八年に北海道知事より改称認証されました。昭和三十三年の七十年祭には、舟神輿が造られ渡御が行われました。其後、何度か渡御が執行され、昭和三十八年には御社殿・社務所などが新築されました。又、昭和六十三年六月十日には、創立百年祭が盛大に執行されました。平成四年、三代目宮司の吉



吉住宮司と共に

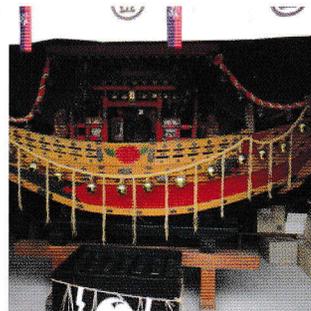
住正様の御逝去により、同人の次男吉住政博様が後任主管者となり、地域と密着した教化活動を心掛けられ、祭典の拡充と、信者・崇敬者との交流を大切にされています。吉住政博宮司は、松前神楽小樽ブロッコ保存会の会長を勤められ、神楽を通して、神職界との交流を深め、三百四十年の歴史を持つ、泊村の泊稲荷神社を始め、五社の兼務社を受け持たれ、神社本庁支部の役員にも就かれ、日々の祭事と職務に追われながら、お忙しく御活躍されています。

所在地:

〒045-0013
北海道岩内郡岩内町高台一五六
電話：〇一三五六二〇九〇二



創立130年祭の船神輿の海上渡御参加者



船大工が樺材で造った高さ2m長さ4mの船神輿